

総合戦略の基本的な考え方

- 本市が有する恵まれた資源
- 温暖な瀬戸内海地域の太陽の恵みと広大な錦海塩田跡地という本市の地域資源を活用した日本最大規模のメガソーラー事業をいかしたまちづくり
 - 隣接する県都岡山市へのアクセスの良さ(JR赤穂線で30分圏内、岡山ブルーライン等の充実した道路網)
 - 海と山が近くにある自然環境、温暖な気候、災害の少なさがもたらす住環境の良さ
 - 豊富な農水産物(米、野菜、くだもの、オリーブ、牡蠣、のり等)
 - 魅力ある観光、歴史、文化資源(瀬戸内の多島美、竹久夢二の生家、日本刀、朝日・夕陽等)
- ☞ 市が輝き続け、子どもたちに太陽のような明るい未来を残すことができる施策を盛り込む

人口の将来展望

① 基本的な視点

- ① 岡山市及び大都市圏などへの転出の抑制
- ② 若い世代の就労、結婚、妊娠・出産・子育ての希望実現
- ③ 地域の課題解決と地域資源・市内産業を活かした地域の活性化

② 将来の目標人口

- 2040(R22)年に「**31,000人**」程度、2060(R42)年に「**27,000人**」程度を維持する。
- 合計特殊出生率の向上
2035(R17)年に1.60
2060(R42)年に2.07
 - 社会増減の向上
・20歳から39歳までの人口の転出の抑制と転入の促進を図り、5年間で男女計80人の社会増を目指す。

基本目標の視点

4つの基本目標及び2つ横断的目標は密接に関係するため、施策の実施に当たっては、

- ・早期かつ効果的な目標の実現
- ・市民、産業界、学校、金融機関、労働機関、NPO、関係事業者等の多様な主体との調整や連携
- ・施策の優先順位づけと重点化を考慮し事業を推進する。

基本目標

1. 地元ではたらくことができるまち

稼ぐ地域をつくとともに、市内で働く人が増えることを目指す。

- ◇ 地域資源をいかした産業の創出、起業・創業の支援
- ◇ 既存産業の持続的発展
- ◇ 家庭としごと、地域行事との両立ができる環境づくり

数値目標 (R6)

- ◇ 市内事業所就業者数：14,318人
- ◇ 創業塾から生まれた創業者数：80人

2. 「このまちとつながりたい」、「このまちで家族と暮らしたい」と思われるまち

本市に多様な形で関わる人(関係人口)や観光で訪れる人(交流人口)、移住・定住する人が増えることを目指す。

- ◇ 市民が本市に愛着を持てる取組の実施
- ◇ 過ごしやすい環境のPRと受入体制の整備
- ◇ 観光資源をいかした観光振興と関係人口の増加

数値目標 (R6)

- ◇ 社会増減数(転入者数-転出者数)：322人
- ◇ 観光入込客数：1,150,000人

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち

若い世代にとって結婚・出産・子育てしやすいまちとなることを目指す。

- ◇ 結婚・出産の希望の実現
- ◇ 子どもがいても働ける環境づくり
- ◇ 子どもの教育における多様な学びの場の提供

数値目標 (R6)

- ◇ 子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思う市民の割合：70.7%
- ◇ 合計特殊出生率：1.40
- ◇ 20歳から39歳までの社会増減数：-31人(転入者数-転出者数)

4. ひとが集い、安心して暮らせる魅力的なまち

人口が減少しても市民が住み続けたいと思うまちを目指す。

- ◇ 公共交通・生活基盤等の整備
- ◇ 安心して暮らせるまちの整備
- ◇ 市と他市町村との連携

数値目標 (R6)

- ◇ 今後も瀬戸内市に住み続けたいと思う市民の割合：89.4%

基本的方向

新たなしごとづくりの支援

- ① 地域資源をいかしたしごとの創出
- ② 起業・創業のための支援
- ③ 企業誘致の促進

産業の発展支援

- ① 第一次産業の活性化
- ② 商工業の経営安定化と活性化の支援

雇用環境の向上

- ① 働きやすいまちの創造
- ② 多様な就業形態の支援

郷土愛の醸成

- ① 魅力的な人づくり

移住・定住の促進

- ① 移住希望者への支援
- ② まちの魅力づくりによる定住の促進

観光による誘客の促進

- ① 地域資源をいかした観光振興と情報発信の強化
- ② 他地域と連携した観光振興

結婚・出産・子育て環境の充実

- ① 出会いの場の創出
- ② 地域全体での子育ての推進
- ③ しごとと子育ての両立への支援の充実
- ④ 出産・子育て負担の軽減

教育環境の充実

- ① 子どもたちの充実した教育の支援
- ② 社会教育環境の充実
- ③ 魅力あるスポーツ環境の充実

時代にあった住環境の整備

- ① 時代にあったまちづくりの推進
- ② 生活基盤の整備

安全・安心なまちづくりの推進

- ① 安心して暮らせるまちの整備
- ② 健康に暮らせるまちの整備

自治体連携の推進

- ① 連携中枢都市圏構想の推進

重要業績評価指標 (KPI)

- ① ブランド認定商品数
- ② 創業塾参加者数
- ③ 市内事業所就業者数

- ① 新規就業者数(農業・漁業)
- ② 創業相談件数
- ③ 商工業者が意欲的に事業に取り組んでいると感じる市民の割合

- ① おかやま子育て応援宣言企業の登録数
- ② テレワーク実証事業実施人数
- ③ 創業相談件数

- ① 瀬戸内市を誇りに思う市民の割合
- ② 瀬戸内市に愛着がある市民の割合

- ① 県外移住相談会における相談件数
- ② 移住者数(相談会参加者)
- ③ 瀬戸内市を住みやすいと感じる市民の割合

- ① 観光ホームページ閲覧件数
- ② にぎわいと活気のある観光のまちであると感じる市民の割合
- ③ 外国人観光客数

- ① 婚活・結婚応援イベント参加者数
- ② 「こどもひろば」に参加した市民の人数
- ③ ファミリーサポートセンター事業利用件数
- ④ 積極的に育児をしている父親の割合
- ⑤ 安心して子どもを産み育てられると感じている市民の割合

- ① 学校に行くのは楽しいと思う小中学生の割合
- ② 図書館入館者数
- ③ 1人当たりのスポーツ施設年間利用回数

- ① 計画的に土地利用が進められていると思う市民の割合
- ② 公共交通機関が利用しやすいと思う市民の割合
- ③ 下水道普及率
- ④ 供用開始区域の水洗化率
- ⑤ 管路の耐震化率

- ① 地域の人口は減少しているものの、安全・安心に暮らせる住みよいまちであると感じる市民の割合
- ② いつでも安心して医療サービスを受けられると感じる市民の割合

- ① 連携中枢都市圏による連携事業数

横断的な目標

1. 多様な人材が活躍できるまち
◇ 地域を担う人材育成、体制づくり
◇ 市と市民の協働

2. 新しい時代の流れを力にするまち
◇ 地方創生SDGsの推進
◇ 未来技術の活用による地域の魅力向上

誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会を目指す。

SDGsを原動力とした地方創生を目指す。

(KPI)
地域コミュニティ活動に参加している市民の割合

(KPI)
SDGs達成のために行動を起こしている市民の割合